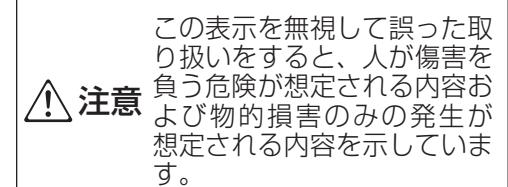
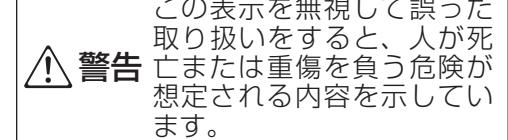
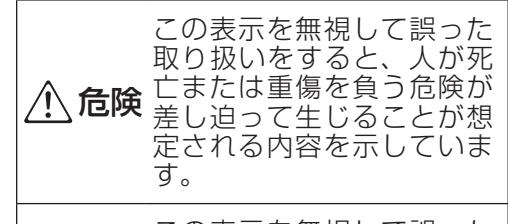


このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い
くださいますようお願い申し上げます。
本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上の注意」を本書に記載
しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。
なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

安全上の注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



絵表示の例

△ 記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。

○ 記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。

● 記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

警告

本機をスキューバダイビング(アクアラング)に使用しないでください。
● 本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
- ② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
- ③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり本機が故障する原因となることがあります。

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計着脱の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

時刻・カレンダーの合わせ方

■ 時刻の合わせ方

1. りゅうすを2段引きます。

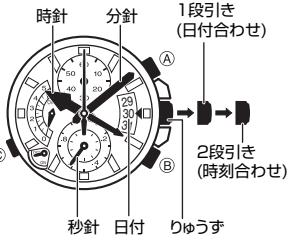
※ この時、秒針が12時の位置まで移動して止まります。

2. りゅうすを反時計回りに回して、時刻を合わせます。

3. りゅうすを押します。

※ 時刻を合わせるときは、針を正転方向（進む方向）に回して合わせてゆき、分針を正しい時刻よりも4~5分進めてから逆に戻して合わせると正確に合わせることができます。

※ 時報は「時報サービス 117番」が便利です。



■ 日付の合わせ方

1. りゅうすを1段引きます。

2. りゅうすを反時計回りに回して、日付を合わせます。

3. りゅうすを押します。

※ 日付は31日制になっていますので、2、4、6、9、11月の月末には必ず修正してください。

※ 午後9時~午前1時の間は、日付合わせを行わないでください（この間に日付合わせをすると翌日になんて変わらないことがあります）。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

表示方式：針式アナログ表示

駆動方式：ステップモーター方式

精度：平均月差±20秒以内

ストップウォッチ機能：計測範囲=4時間59分59秒95（5時間計）

計測単位=1/20秒

計測機能=通常計測、積算計測

アラーム機能：時刻アラーム

アラーム数=1本

セット単位=時（1日2回）

電子音=15秒間（3~4回繰り返し）

使用電池：SR927W 1個（電池別途販売）

電池寿命：約2年

ストップウォッチの使い方

本機は、1/20秒単位で4時間59分59秒95（5時間計）まで計測できます。

■ 計測のしかた

1. ①ボタンを押します

・ストップウォッチ用1/20秒針が“0”の位置になります。

2. ②ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。

※ りゅうすを引いた状態では計測を行わないでください。

●「ストップウォッチ用1/20秒針」について

・計測スタート後、30秒間動きます（1/20秒の計測値を指示します）。

・計測スタート後30秒経過すると、“0”的位置で止まります。

・“0”的位置で止まっている状態（計測スタート後30秒経過）で計測をストップすると、1/20秒の計測値を指示します。

計測の流れ



積算計測…ストップ後リセットせずに再スタート（④ボタン）すれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

※ 計測をリセットすると、ストップウォッチ用1/20秒針、秒針、分針が早送りで回り出します。“0”的位置または12時の位置に戻ります。針が早く回っている間はボタン操作はできませんのでご注意ください。

※ 計測スタート後5時間を過ぎると、ストップウォッチ用時針は止まりますが、分針と秒針は動き続けます。

ストップウォッチ機能を終了するときは、リセット状態で④ボタンを押してください。

■ ストップウォッチ用針位置の修正

リセット状態でストップウォッチ用1/20秒針や秒針が“0”的位置または12時の位置に戻らないときは、以下の操作を行ってください。

1. りゅうすを2段引きます。

2. ④ボタンを押して、ストップウォッチ用秒針を12時の位置に合わせます。

※ 押し続けると早送りします。

3. ④ボタンを押して、ストップウォッチ用1/20秒針を“0”的位置に合わせます。

※ 押し続けると早送りします。



例: 2時間20分40.60秒と読みます

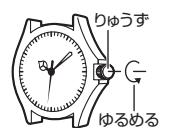
4. りゅうすを押し込みます。

※ りゅうすを引いている間は、通常時刻の針も止まりますので時刻を合わせ直してください。

5. ④ボタンを押して、ストップウォッチの針がそれぞれ12時の位置または“0”的位置にリセットされていることを確認してください。

● りゅうすについて

防水時計の一部（特に10気圧・20気圧防水）でりゅうすがネジ込み式になっているものは、時刻・カレンダーを合わせる際は左回しにしてネジ込みをゆるめた後、りゅうすを引いてください（無理に引っ張らないでください）。なお、りゅうすをゆるめた状態では防水機能を保てませんので、時刻合わせなどが終わったら必ずネジ込みをしてください。



● 回転ベゼルのついているものは

回転ベゼルを回し、▼マークを分針に合わせると、その位置をスタートとして経過時間を知ることができます。



アラームの使い方

アラームをオンにすると、時針がアラーム針と重なったときにアラームが鳴ります（2回／1日）。例えば、6時にアラーム針をセットすると、午前6時と午後6時にアラーム音が鳴ります。アラーム音は15秒間鳴り、2分45秒間停止した後またアラーム音が鳴ります。アラームを止めるまで3、4回繰り返します。

■ アラーム時刻のセットのしかた

1. りゅうすを1段引きます。

2. りゅうすを時計回りにまわして、アラーム針を設定時刻に合わせます。

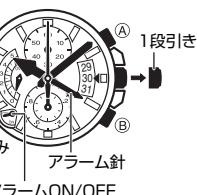
3. りゅうすを押します。

4. ④つまみを引いて、アラームをオン（ON）にします。

・④つまみを押し込むと、アラームはオフ（OFF）になります。

■ アラームの止め方

1. アラームが鳴っているときに、④つまみを押し込みます。



お手入れについて

■ お手入れのしかた

● ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとさび易くなります。

● 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがあります。人体および衣服への影響はありません。また布等で簡単にふきとることができます。

● 樹脂バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にしてご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。

● バンドにビニなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。

● 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

■ お手入れを怠ると

（さび（鏽））

● 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。

・汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。

● 表面はさけいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。（劣化）

● 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

（かぶれ）

● 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、ごまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンドの駒詰めには専用の工具が必要となります。お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはケガ等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。

なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

■ 防水性

● 防水時計は時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」、「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

表示	時計の表面または裏蓋に表記	日常生活用強化防水		
		5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

● 専門的な潜水=スクューバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。

● 時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは、防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

● 防水構造の機種でも水中や、水分のついたまま、りゅうすやボタンの操作をしないでください。

● 防水構造の機種でも、時計をつけたままの入浴、洗剤等（石鹼・シャンプーなど）のご使用をお避けください。防水性能を低下させる原因となります。

● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとつください。

● 防水性を保つために定期的（2~3年を目安）なバッキン交換をおおすすめします。

● 電池交換の際、防水試験を行いますので、必ずお買い上げの販売店あるいは「修理サービス窓口」にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。

● 防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

● 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがあります。すぐに曇りがなくなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にならず、ただちに修理が必要です。

● 時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因となります。

■ バンド

● バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

● バンドは劣化やさび（鏽）などにより切れたり外れたりする場合があります。バンドは、常に手入れをしてください。清潔にご使用ください。

● バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理（有償）または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換（有償）をお申し付けください。

■ 温度

● 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。

■ ショック

● 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままの強烈な振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■ 磁気

● アナログ時計やコンビネーション（アナログとデジタル）時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方法を採用していますが、このモーターは強い磁気（オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など）を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。

■ 静電気

● 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。

■ 薬品類

● シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含んでいるクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース・樹脂バンド・皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■ 保管

● 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■ 樹脂製品について

● 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておこうと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。

● 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置する色あせする場合があります。

● 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色あせする場合があります。

● バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

● 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとつて、乾かしてください。

● スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色が起こすことがあります。

● 樹脂部品の交換は、「修理サービス窓口」にお申し付けください。有償